

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービススマーブル府大前アカデミア			
○保護者評価実施期間	R6年 8月 1日 ~ R6年 10月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35名	(回答者数)	23名
○従業者評価実施期間	R6年 8月 1日 ~ R6年 10月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 9月 19日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎週末にイベント（創作、サイエンス、外出等）を行っており、多くのこどもたちに楽しんで過ごして頂けています。	イベントを通して他者との関わりを積極的に学べるように意識し、工夫しています。	今後も様々な経験ができるイベントを行っていきます。
2	一人一人に沿った支援プログラムを行っています。	一人一人の個性や特性を把握し、その時の状況や課題に応じて支援方法等を随時決めています。	第三者の視点でのアドバイス等をより積極的に取り入れていき、より包括的な支援を行っていきたいです。
3	室内を学習スペースと活動スペースに分けている。	活動に沿った部屋割りを提供しており、場面の切り替えがスムーズにできるように環境を整備している。	室内で過ごすに適り、視覚支援等を行いより過ごしやすい環境を整えていこうと思います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がない。	交流の機会が設けられていない。	外出やアートイベント等を通して、交流の機会を増やしていくように検討する。
2	保護者同士の交流の機会がない。	交流の機会が設けられていない。	行事事等を通して、交流の機会を設けられる様に検討する。
3	災害に備えた訓練内容等の周知ができていない。	訓練の活動内容の説明等が行えていなかった。	SNSや広報誌等を通して、積極的に活動をお知らせできるように検討する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		保護者等からの事業所評価の集計結果						
		公表日 令和6年10月31日						
		利用児童数 35名 回収数 23						
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	5	0	3		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18	1	0	4		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	1	0	5		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	1	0	4		
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	4	0	1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	2	0	2		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	1	0	1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	3	0	4		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	1	0	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	3	0	1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	7	5	1	10		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	1	0	1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	8	7	1		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	23	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	4	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	5	5	10	保護者同士の交流があれば、参加してみたいです。	今後、保護者同氏の交流会をご検討させて頂きます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	3	0	4		

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18	2	0	3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	0	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	4	0	8	教えてほしいです。	マニュアルの内容と訓練内容等を定期的に再周知することを検討致します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	5	0	10	教えてほしいです。	定期的に再周知することを検討致します。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	4	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	3	0	2		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	23	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	23	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	1	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービススマーブル府大前アカデミア				公表日	R6年 10月 31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		学習スペースと余暇活動の為のスペースを分けており、それぞれの児童の人数に合わせてスタッフを配置している。		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		利用人数や子どもの状態を考慮したうえで、スタッフの配置を行っている。		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	3	学習スペースとその他の活動の為のスペースを分かりやすく分けています。	掲示物等を減らし集中できるように余計な情報を減らしているが、1日の流れ等を視覚的に分かりやすくする為の掲示物を適度に増やしていくように検討している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		適時消毒等を行っている。		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	2	体調不良やクールダウンを促す際に使用する個室を用意している。	マットや毛布を使用し個室でも横になり休憩できる環境を整えられるよう検討している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		適時目標設定と振り返りを行うことで、広く職員が参画できるようにしている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		定期的に保護者アンケートを行い、その内容をスタッフ間に周知し、業務改善に繋げている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		就業時には毎回ミーティングを行っており、その都度スタッフ間で意見交換を行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		今後は第三者による外部評価を積極的に行つていけるように検討したい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		定期的に社内での研修を行っており、同時に外部の研修も並行して行っている。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			今後していく予定である。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		各ニーズを客観的に分析し、お話を伺いしたうえで計画を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		スタッフ間で会議を行い意見交換や情報の共有をしたうえで作成している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		適宜職員間で共有し、計画に沿った支援を行っている。		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		インフォーマルなアセスメントを使用し、日々の行動観察等も行っている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		ガイドラインに沿った支援内容を設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		スタッフ間で意見交換を行い、活動プログラムを立案している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		プログラムが固定化されないように定期的に違う内容のプログラムに取り組んでいる。		

供 給	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		定期的にモニタリングを行い、その時の状況に応じた計画を立案し、支援を行っている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		始業時に毎回ミーティングを行っている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		送迎後に毎回振り返りと情報共有を行っている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		PDCAサイクルに則り日々の支援の記録を取り、改善に繋げている。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		定期的にモニタリングと個別支援計画の更新を行っている。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4		ガイドラインに則り支援を行っている。	
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		あらゆる場面で子どもが自己選択ができるように支援を行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		管理者、または最も状況を理解しているスタッフが参加している。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		必要に応じて各関係機関と情報共有を行っている。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		適時情報を共有している。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		4		今後は積極的に情報共有を行っていきたい。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		4		今現在、障害福祉サービス事業所等へ移行する例がないが、今後卒業される児童に対し、積極的に移行先への情報共有を行っていきたい。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1	各関係機関と連携を図り、必要に応じて助言を頂く機会を設けている。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	1	3		今後は地域の子どもと活動する機会を設けていきたい。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		4		今後は積極的に参加していきたい。
	34 曰頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		送迎時に都度その日の様子や、近況の情報を共有している。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4		今後は研修会等の機会を設けることを検討していきたい。
・	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	2	契約時に説明を行っている。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		面談等を行い意向の確認を行っている。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		作成した支援計画を提示しながら説明を行い、その後に同意を得ている。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		適時行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		4		今後はそういった交流の機会を設けていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		迅速に対応策をたて、周知と説明を行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		広報誌やSNSを活用し活動概要等を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		厳重に管理している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		個人個人に配慮した形で情報伝達を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		今後はそういったイベント等も行っていくことを検討していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	契約時に説明を行っており、適時訓練を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		業務継続計画（BCP）を策定し、適時訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		契約時にアセスメントを取り、その後も必要に応じて状況の確認を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2		アレルギーのあるこどもに対し、該当する物の提供を行っていない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全計画を作成し、安全管理を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		契約時に説明を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		その都度事業所内で共有し、迅速に対策を検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		虐待防止委員会を設置している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	2		基本的に身体拘束を行っていないが、今後は様々な状況を想定し計画への記載を行っていくことを検討する。